

# NIH Stroke Scale (NIHSS)

Based on article by Lyden P, et al. Stroke 1994; 25 (11):2220-6

監修：東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学分野 教授 森 悦朗

# NIH Stroke Scale (NIHSS)

Based on article by Lyden P, et al. Stroke 1994; 25 (11): 2220-6

監修：東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学分野 教授 森 悦朗

## 記入上の注意点

- リストの順に施行すること。
- 各検査項目施行直後にその結果を記録する。
- 逆に行ったり評点を変更してはならない。
- 各検査の行い方についての指示に従う。
- 評点は患者がなしたことを反映するのであって、患者ができるだろうと医師が推測したことを反映するのではない。
- 検査を施行している間に記録すること。
- 特に指示されている部分以外では、患者を誘導してはならない(すなわち、何度も命令を繰り返すと患者は特別に努力をしてしまう)。
- いずれかの項目が実施されなかった場合は、その理由を明白に説明しておく。

# NIH Stroke Scale (NIHSS)

患者名:

評価日時:

評価者:

	スコア	スコア				メモ
		0	1	2	3	
1a.意識水準 0:完全覚醒 1:簡単な刺激で覚醒 2:繰り返し刺激、強い刺激で覚醒 3:完全に無反応	0	1	2	3		
1b.意識障害—質問 (今月の月名及び年齢)	0	1	2			
1c.意識障害—従命 (開閉眼、「手を握る・開く」)	0	1	2			
2.最良の注視	0	1	2			
3.視 野 0:視野欠損なし 1:部分的半盲 2:完全半盲 3:両側性半盲	0	1	2	3		
4.顔面麻痺 0:正常 1:軽度の麻痺 2:部分的麻痺 3:完全麻痺	0	1	2	3		
5.上肢の運動(左) *仰臥位のときは45度左上肢 N:切断、関節癒合 0:90度*を10秒間保持可能(下垂なし) 1:90度*を保持できるが、10秒以内に下垂 2:90度*の拳上または保持ができない 3:重力に抗して動かない 4:全く動きがみられない	0	1	2	3	4	N
上肢の運動(右) *仰臥位のときは45度右上肢 N:切断、関節癒合 0:90度*を10秒間保持可能(下垂なし) 1:90度*を保持できるが、10秒以内に下垂 2:90度*の拳上または保持ができない 3:重力に抗して動かない 4:全く動きがみられない	0	1	2	3	4	N
6.下肢の運動(左) N:切断、関節癒合 0:30度を5秒間保持できる(下垂なし) 1:30度を保持できるが、5秒以内に下垂 2:重力に抗して動きがみられる 3:重力に抗して動かない 4:全く動きがみられない	0	1	2	3	4	N
下肢の運動(右) N:切断、関節癒合 0:30度を5秒間保持できる(下垂なし) 1:30度を保持できるが、5秒以内に下垂 2:重力に抗して動きがみられる 3:重力に抗して動かない 4:全く動きがみられない	0	1	2	3	4	N
7.運動失調 N:切断、関節癒合 0:なし 1:1肢 2:2肢	0	1	2			N
8.感 覚 0:障害なし 1:軽度から中等度 2:重度から完全	0	1	2			
9.最良の言語 0:失語なし 1:軽度から中等度 2:重度の失語 3:無言、全失語	0	1	2	3		
10.構音障害 N:挿管または身体的障壁 0:正常 1:軽度から中等度 2:重度	0	1	2			N
11.消去現象と注意障害 0:異常なし 1:視覚、触覚、聴覚、視空間、または自己身体に対する不注意、あるいは1つの感覚様式で2点同時刺激に対する消去現象 2:重度の半側不注意あるいは2つ以上の感覚様式に対する半側不注意	0	1	2			
スコア×個数		1X 個	2X 個	3X 個	4X 個	
スコア小計						

記入日: 年 月 日

スコア合計 /

制作：シュプリンガー・ジャパン株式会社  
シュプリンガー・ヘルスケア ビジネスユニット

協和発酵キリン株式会社  
[www.kksmile.com](http://www.kksmile.com)

KK-16-04-13929  
ACT0004B16E  
2016年5月作成